基礎内水槽のピット①

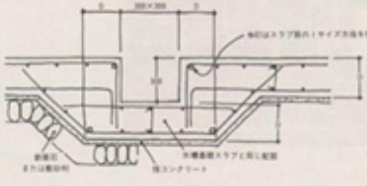
内 容

基礎内に設けた地下水槽のピットの配筋が、適正な方法ではない。好ましくない状態でコンクリートを打込むと、将来ひびわれが発生して汚水の侵入や漏水などを生ずる事故の原因になる。

処 置

ピットの開口の際切り・配筋・型枠など正しい内容にやり直す。

設 計

基礎内に、排水槽・汚水槽・清水槽・浄化槽・受水槽などの水槽を設ける場合は、原則として集水ピットを設けなければならない。このピットは、必ず設計図書に位置・深さ・断面・配筋などを明確に指示しなくてはならない。一般には、水中ポンプ1個につき平面300mm×300mm、深さ300mm程度の大きさである。ピットの標準的な配筋方法を参考に示す。

ピット標準図